

実践団体情報

記入日	西暦 2019 年 1 月 7 日 (年度のチャレンジプラン)
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
代表者名	校長 今村 信
プラン全体のタイトル	自分の命は自分で守る。自助、共助で生き抜く。
電話番号	0897-37-2313
メールアドレス	n12233@city.niihama.lg.jp
実践団体の説明	平成 16 年豪雨災害により、土砂災害や浸水被害など被災した経験を踏まえ、毎年、5 年生が様々なテーマを定め、防災学習に取り組んでいる。 過去に防災科学技術研究所が開催した e 防災マップ部門で 2 年連続最優秀賞を受賞した。
所属メンバー	担当：新居浜市消防本部 総務警防課 副課長 高橋直樹
活動地域	新居浜市金栄校区
活動開始時期・結成時期	2008 年
過去の活動履歴・受賞歴	2014・2015 年 e 防災マップ最優秀賞受賞 2015 年 地区防災計画モデル地区

プラン全体の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 豪雨災害の被災経験から得た教訓をもとに小学生の防災力の向上を図り、命の大切さを学び、今後の防災活動に展開させる。 2 地域の危険箇所などをe防災マップなどに反映し、地域で情報共有を図る。 3 松山地方気象台などの専門化を講師に招き、気象に関する情報、知識を習得するなど防災への関心を持たせる。
----------	--

プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4月	年間計画立案		
5月	関係機関との協議	防災学習、防災訓練打合せ	
6月	関係機関との協議	防災学習、防災訓練打合せ	
7月	関係機関との協議	防災学習、防災訓練打合せ	
8月	気象台との講演調整	防災学習、防災訓練打合せ	
9月	防災学習	防災学習、防災訓練打合せ	過去の災害について 防災講演会
10月	防災学習・まちあるき	まちあるき打合せ	防災力を高める 防災マップについて まちあるき 地域防災訓練
11月	防災学習		まちあるき結果整理 防災マップ・防災カード作製
12月	防災学習		防災マップ・防災カード作製
1月	防災学習		防災マップ・防災カード作製 防災学習発表準備 防災学習発表会
2月	防災学習		防災学習取りまとめ
3月	まとめ・次年度計画立案		

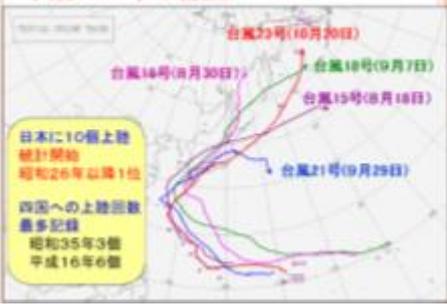
プラン全体の反省点・課題・感想	<ol style="list-style-type: none"> 1 消防職員が、メインで防災教育を進めているため、災害発生した際には対応が困難となる可能性があった。 2 西日本豪雨災害などにより、臨時休校が複数回あったため、予定どおりの日程で進めることができなかった。 3 中学校に進学後も、防災教育の取り組み状況などの確認を行い、防災力の低下を防ぐ。
今後の活動予定	<ol style="list-style-type: none"> 1 金栄小学校では、毎年5年生が防災についてテーマを決定し防災教育に取り組んでいる。継続して防災学習に取り組み、地域と連携することにより、地域全体の防災力向上を目的とする。 2 平成16年豪雨災害で甚大な被害を受けたことを風化させることなく、後世につなげていく。 3 地域外からの転入者が増加しており、土砂災害、浸水被害の可能性も高いことなどについて、学校防災教育を通じて情報共有を図る。

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2019 年 1 月 7 日 (18 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号	1
タイトル	過去の災害について
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額	4,000 円
実践の準備にかかった時間	数日
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 9 月 11 日 13 時 30 分～15 時 30 分
実践の所要時間	2 時間
実践の運営側で動いた人の人数	3 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)
防災教育の対象者の人数	約 60 人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県 新居浜市
実践を行った具体的な場所	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市消防本部 消防職員 平成 16 年豪雨災害画像

達成目標	新居浜市内及び全国各地で発生した過去の災害について学び、自然災害が発生した際には、命を守る大切さを知る。	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

<p>実践内容・方法</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>今日の授業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 金栄校区、新居浜市の過去の災害内容を知る。 ▶ 金栄校区で災害が発生した場所を知る。 ▶ 金栄校区で発生する可能性がある災害を知る。 ▶ 金栄校区のハザードマップを見て、地域のことを知る。 </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>平成16年の台風</p>  </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 金栄校区及び新居浜市で発生した過去の災害を知る。 2 金栄校区で災害が発生した場所及び発生する可能性がある箇所を知る。 3 金栄校区のハザードマップを見て地域特性を知る。 	
<p>得られた成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成16年豪雨災害以降に生まれた小学5年生が地域で発生した豪雨災害について学び、被災体験を受け継ぐことができた。 2 地域で土砂災害、浸水被害が発生する可能性を知り、自然災害など有事の際に的確かつ陣族に対応できるよう防災力の向上を図れた。 	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦労・工夫</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 可能な限り、当時の画像を使用し、目で見て学ぶことに努めた。 	

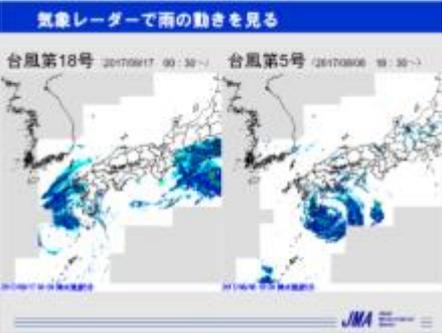
<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>金栄校区地域住民</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>命を守る大切さ、地域住民へ伝えたい。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2019 年 1 月 7 日 (18 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号	2
タイトル	防災講演会 ～愛媛の気象と防災情報～
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額	0 円
実践の準備にかかった時間	数日
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 9 月 25 日 10 時 00 分～12 時 00 分
実践の所要時間	2 時間
実践の運営側で動いた人の人数	5 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)
防災教育の対象者の人数	約 100 人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県 新居浜市
実践を行った具体的な場所	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	松山地方気象台 気象予報官 気象台参考資料

達成目標	気象台の業務内容、愛媛県に接近した台風、防災気象情報について知識を深め、災害時に身を守ることができるよう防災力の向上を図る。	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

<p>実践内容・方法</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>1 気象台の業務内容の説明を受け、どのようにして天気予報ができてい るのかを知る。</p> <p>2 過去の台風による被害状況を学ぶ。</p> <p>3 大雨などから身を守るために必要な防災情報について学び、有事の際 に活用できる対応力を身に付ける。</p>	
<p>得られた成果</p>	<p>1 台風発生メカニズム、時間雨量の計測方法などの講話を聞き、降水 量と土砂災害、浸水被害がリンクしていることを知り、土砂災害など から身を守る大切さを知ることができた。</p> <p>2 防災情報の活用を学び、有事の際に活用することを知り得た。</p>	
<p>どのくらい身につ きましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<p>1 出水期の開催であったため、警報等が発令されていた場合には開催が 困難であった。</p>	

<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</p>	
<p>関係者の名前・団体名</p>	<p>松山地方気象台</p>
<p>関係者の説明</p>	<p>気象予報官・土砂災害気象官</p>

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>金栄校区地域住民</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>防災情報の重要性について</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2019 年 1 月 7 日 (18 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号	3
タイトル	防災力を高める
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額	0 円
実践の準備にかかった時間	数日
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 10 月 2 日 13 時 30 分～15 時 30 分
実践の所要時間	2 時間
実践の運営側で動いた人の人数	3 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)
防災教育の対象者の人数	約 60 人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県 新居浜市
実践を行った具体的な場所	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市消防本部 消防職員

達成目標	地域の危険箇所について、平成 16 年豪雨災害の画像を活用して、地域特性を知る。 また、有事の際の避難経路、避難所、災害用防災資機材などについて学び、また、学校における防災リーダーの役割を担えるようにする。	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

<p>実践内容・方法</p>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>今後の防災教育の目標</p> <p>☆高学年のみんなは、守られるのではなく、 守る人になろう。</p> <p>☆学校では、低学年のみんなを守ってあげよう。</p> <p>☆10年後にはみんなは、立派な大人です。 自分たちが、防災のリーダーに…</p> </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 今日からできることとして、防災に対するスイッチを入れ、防災に関心を持つ。 2 日頃は危険を感じない個所でも、大雨などが降った際には危険個所となることを学ぶ。 3 被災したときに、身を守り、率先して地域住民とともに地域を守れるよう知識を習得する。 	
<p>得られた成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 始めて防災教育を学ぶことから、自分の命は自分で守ることについて知識を習得することができた。 2 地域内の危険個所が多数存在し、過去に被災した箇所を知ることにより、災害発生時に命を守る大切さを学んだ。 	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦労・工夫</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 可能な限り、当時の画像を使用し、目で見て学ぶことに努めた。 	

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>金栄校区地域住民</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>地域の危険個所の存在を知り、身を守る大切さを知る。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2019 年 1 月 7 日 (18 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号	4
タイトル	防災マップについて
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額	0 円
実践の準備にかかった時間	数日
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 10 月 9 日・10 月 19 日 13 時 30 分～15 時 30 分
実践の所要時間	4 時間
実践の運営側で動いた人の人数	3 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)
防災教育の対象者の人数	約 60 人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県 新居浜市
実践を行った具体的な場所	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市消防本部 消防職員

達成目標	防災まちあるきに向けて、新居浜市防災マップを活用して、凡例の基づき地域内の危険箇所等を知る。 金栄校区の白地図を活用して、自らの目で見えて感じたことをグループごとに地図に記載する。	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

<p>実践内容・方法</p>	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p style="color: red; font-weight: bold;">まち歩きに向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 金栄校区で過去の災害内容や発生した場所を歩いてみよう。 ▶ 地域の方に過去の災害について聞いてみよう。 ▶ 金栄校区で災害が発生する可能性がある場所を調べてみよう。 </div> <div style="flex: 1;">  </div> </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 まちあるきにおいて、過去の災害内容や発生した場所を事前に調べる。 2 平成 16 年豪雨災害による被災者などから被災体験を聞き取りするために事前にグループで協議を行う。 3 災害が発生する可能性がある箇所について、防災マップを活用して予備知識を持つ。 	
<p>得られた成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 日常の登下校などで見聞きしている地域特性を、グループで共有することができた。 2 まちあるきに向けて、避難経路、避難所、災害時に役に立つ場所など災害に関連した地域特性を学んだ。 	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 マップを見る機会なども少ないため、マップを見て著名な建物などを判断できることから行った。 	

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>金栄校区地域住民</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>地域の危険個所の存在を知り、身を守る大切さを知る。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2019 年 1 月 7 日 (18 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号	5
タイトル	防災まちあるき
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額	0 円
実践の準備にかかった時間	数日
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 10 月 22 日 9 時 00 分～12 時 00 分
実践の所要時間	3 時間
実践の運営側で動いた人の人数	3 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)
防災教育の対象者の人数	約 100 人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県 新居浜市
実践を行った具体的な場所	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市消防本部 消防職員 自治会・公民館・社会福祉協議会・民生委員

達成目標	防災まちあるきを各自治会単位で行い、危険箇所、災害時に役に立つ施設などを調査する。 平成 16 年豪雨災害にて被災した方々に当時の状況について話を聞き、取りまとめ資料に反映する。	
どの力を身につけようとしていましたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

<p>実践内容・方法</p>		
<p>得られた成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 まちあるきにおいて、過去の災害内容や発生した場所及び災害時に有効となる施設等を調査する。 2 防災マップ作製時の基礎資料として、平成16年豪雨災害被災者などから被災体験の聞き取りを行う。 3 地域の住民とまちあるきを行うことにより、平時から顔の見える関係づくりを行う。 	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦労・工夫</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 まちあるきに同行する地域住民と事前打ち合わせを行い、児童たちに具体的な話をしてほしいと依頼した。 	

<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</p>	
<p>関係者の名前・団体名</p>	<p>金栄校区自治会・公民館・社会福祉協議会</p>

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>金栄校区地域住民</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>地域の危険個所の存在を知り、身を守る大切さを知る。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2019 年 1 月 7 日 (18 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号	6
タイトル	金栄校区防災訓練
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額	100,000 円
実践の準備にかかった時間	数日
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 10 月 28 日 8 時 00 分～12 時 00 分
実践の所要時間	3 時間
実践の運営側で動いた人の人数	30 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (低学年)・小学生 (高学年)・教職員・保護者/PTA 地域住民・高齢者
防災教育の対象者の人数	約 1,200 人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県 新居浜市
実践を行った具体的な場所	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市消防本部 消防職員 自治会・公民館・社会福祉協議会

達成目標	校区防災訓練を実施し、防災力の向上を目的とする。 地震体験、初期消火、煙体験、土のう作成、応急搬送、応急手当などの体験及び訓練を実施し、災害時に的確に対応できる知識及び技術の習得を目的とする。	
どの力を身につけようとしたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

<p>実践内容・方法</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 訓練開始の緊急地震速報に併せて防災頭巾をかぶり、身を守る行動を取り、地震が収まったこと確認後、体育館へ移動、人員点呼を行う。地域住民も自宅から徒歩にて、避難所となる金栄小学校へ移動する。 2 参加全員にて各種訓練を行い、知識及び技術の習得を図る。 	
<p>得られた成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 多数の地域住民の参加のもと、地域の防災力の向上につながった。 2 マンネリ化を避けるため、毎年、訓練メニューを変更し、また、一人でも多くの住民が参加してもらうために、訓練日を参観日にして、保護者には積極的に参加してもらっている。 	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 関係機関の方々と事前打ち合わせを行い、多くの参加者が体験できるよう検討した。 	

<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</p>	
<p>関係者の名前・団体名</p>	<p>金栄校区自治会・公民館・社会福祉協議会</p>

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>金栄校区地域住民</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>地域の危険個所の存在を知り、身を守る大切さを知る。</p>

実践したプランの内容と成果

記入日	西暦 2019 年 1 月 7 日 (18 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	新居浜市立金栄小学校
実践番号	7
タイトル	防災まちあるき結果整理・防災マップ作製 防災発表会準備
実践担当者のお名前	高橋直樹

実践にかかった金額	0 円
実践の準備にかかった時間	数日
実践活動を実施した日時	西暦 2018 年 11 月 5 日・21 日・30 日、12 月 19 日 1 月 15 日・18 日・(予定) 21 日・22 日・24 日・25 日
実践の所要時間	16 時間
実践の運営側で動いた人の人数	3 人
防災教育の対象者の属性	小学生 (高学年)
防災教育の対象者の人数	約 60 人
実践を行った都道府県と市区町村	愛媛県 新居浜市
実践を行った具体的な場所	新居浜市立金栄小学校
★実践に必要なだった特定の能力を持った人・物品・ツール・知識等	新居浜市消防本部 消防職員 PC

達成目標	防災まちあるきで調査した結果を取りまとめ、防災マップなどの作製に取り組む。	
どの力を身につけようとしていましたか？	知識・技能	大いに
	思考力・判断力・表現力	大いに
	学びに向かう力・人間性	大いに

<p>実践内容・方法</p>		
<p>得られた成果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 個人で作成した防災カードを取りまとめ、印刷して冊子として、成果品として結果が残せた。 2 毎年、メインテーマを変更することにより、様々な成果品を作成することができた。 	
<p>どのくらい身につきましたか？</p>	<p>知識・技能</p>	<p>大いに</p>
	<p>思考力・判断力・表現力</p>	<p>大いに</p>
	<p>学びに向かう力・人間性</p>	<p>大いに</p>
<p>課題・苦勞・工夫</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 パソコン操作に苦慮した児童がいた。 	

<p>★運営・実践の担当者が協力を求めた人や団体（関係者）について</p>	
<p>関係者の名前・団体名</p>	<p>金栄校区自治会・公民館・社会福祉協議会</p>

<p>★この実践事例を通じてあなたが学んだことや誰かに伝えたいメッセージ</p>	
<p>伝えたい相手</p>	<p>金栄校区地域住民</p>
<p>伝えたい内容</p>	<p>自分の命は自分で守る。自助、共助で命を守る。</p>